

# 読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

東京都小平市の市立図書館が、井原市出身の彫刻家・平櫛田中の作品を3D画像にします。記事を読み、質問に答えましょう。

## Q1 ★★☆☆

3D画像になる田中の作品四つを、第2、3段落から探しましょう。

## Q2 ★★☆☆

Q1で答えた作品について、インターネットなどを使って調べてみましょう。小平市平櫛田中彫刻美術館、井原市立田中美術館のホームページが参考になります。

## Q3 ★★☆☆

田中作品の3D画像をインターネットで公開することには、どのような良い点があるでしょうか。第1、3段落にヒントがあります。

★の数は問題の難易度を表しています。

ネットでも美術館でも  
いろいろな方法で  
美術鑑賞楽しもう



## 田中作品3D画像に



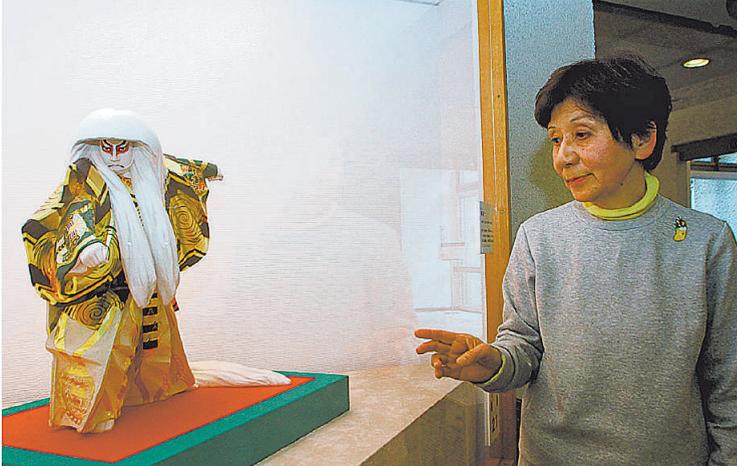
平櫛田中

3D画像化してインターネットで公開する準備を進めている。作品を後世に伝えるとともに、遠隔地からの鑑賞を可能にして田中

井原市出身の近代彫刻の巨匠・平櫛田中(1872〜1979年)が晩年を過ごした東京都小平市の市立図書館は、田中作品を3D画像化するの

晩年移住 東京・小平の市立図書館

### 「鏡獅子」など4点公開へ



3D画像化される「鏡獅子」と田中の孫の弘子さん＝小平市平櫛田中彫刻美術館

中国の故事にちなむ魔よけの鬼「鍾馗」(54年作、58歳)。1作品当たり100枚以上の写真撮影して立体的な画像に仕上げる手法が用いられ、美術館では鑑賞しにくい作品の裏側などさまざまな角度から楽しめるとい

意義を語る。他の3作品は、上京後間もない田中が制作し、靴ひもといた細部まで丁寧に表現された「唱歌君ヶ代」(01年作、64・7歳)、市史や郷土写真のデジタル化を進める市立図書館の取り組みの一環。1月中にも特設サイト「こだいらだてを追求する自身を重ねたといわれる「尋牛」(13年作、46・5歳)、